

第46回つべつ夏まつり



第46回つべつ夏まつりが、7月2日・3日の二日間、河岸公園で開催されました。RECつべつによるリコーダー演奏で幕開けした2日の前夜祭は、あいにくの雨模様でしたが、出店には多くの人々が訪れ、もちまき大会と花火大会が行われました。

3日の本祭では、姉妹都市・南アルプス市も参加したつべつ観光物産まつり、第12回川のぼり大会、特産ビーフまつりなど多彩なイベントが開催され、町内外から訪れた人が夏の日を満喫しました。

また、野外ステージで行われたHBC公開録音には、「亜麻色の髪の乙女」でおなじみの島谷ひとみ、旭川出身の歌手・浅井未歩、お笑いコンビ・流れ星が登場し、会場を埋めた観客を沸かせました。



島谷ひとみがヒット曲を熱唱



RECつべつのリコーダー演奏



雨の中で行われたもちまき大会



まる太くん音頭を初披露



今年の川のぼり大会は難コース？



人気お笑いコンビ 流れ星



子どもたちに人気のスマートボール



出店には行列も



山鳴太鼓保存会の力強い演奏

核のない平和な世界を願って

今年で71回目の終戦記念日を迎えます。しかし、今なお広島・長崎の原爆の後遺症に苦しむ多くの人たちがいます。

核も戦争もない平和な世界は人類の願いであります。津別町は、平成10年9月に左記の「非核・平和の町宣言」を行い、核兵器の廃絶を訴えています。

また、平成14年には幸町の忠魂碑跡地に「平和の碑」を建立し、恒久平和の実現を願っています。さらに、平成21年に、連帯して世界恒久平和の実現を願う「平和市長会議」に加盟しました。



「非核・平和の町宣言」の決議

世界の恒久平和と豊かで安全な地域環境を守ることが、全世界の共通の願いであります。

この切なる人類の願いにかかわらず、今なおこの地球上には大量の核兵器が蓄積され、核実験・核競争が行われ、この脅威から解放されておりません。核兵器の使用は地球を破壊し、すべての人類、すべての文明を破壊させるものであります。

世界唯一の被爆体験国である日本国民は、この過ちを再び繰り返さないために、核兵器の廃絶を世界に訴え続け、核競争に歯止めをかけなければなりません。

愛林の町を宣言している私たち津別町民は、緑豊かな自然と郷土を守り子孫に伝えるためにも、非核三原則の作らず・持たず・持ち込ませずの理念を尊守し、恒久平和の実現を願い、ここに「非核・平和の町宣言」をする。

平成10年9月25日

北海道網走郡津別町議会

各種医療費助成事業の受給者証は届いていますか

町では、北海道と共同で医療費の助成事業を実施していますが、この受給者証は毎年7月に更新しています。現在助成の対象になっている方には、7月下旬に郵送していますが、もし届いていない方がいましたら役場担当まで問い合わせ願います。

乳幼児等医療費助成事業

【受給者証を提示することで医療機関の窓口負担が0円になります】

道内の医療機関で受診した際、受給者証を提示することで窓口負担が0円になります。ただし、容器代等の保険適用外は除きます。

また、対象とならなかった医療機関等で受診した場合は、領収書を役場に持参の上、医療費を請求してください。

ひとり親家庭等医療費助成事業

【母子家庭、父子家庭の方が助成対象になります】

ひとり親家庭で、18歳未満の児童・生徒及びその児童等を養育している方が対象です。住民税非課税世帯の方は、児童等が20歳未満まで対象となります（申請には在学証明書が必要）。

受給者証は、各医療機関に提示することで、医療費の助成が受けられます。ただし、親の外来は医療機関で発行される領収書を役場に持参の上、医療費の請求をしてください。

重度心身障がい者医療費助成事業

対象者は、身体障害者手帳の1・2級と3級（内臓疾患のみ）、療育手帳「A」判定の方などです。

受給者証は、各医療機関で提示することで、医療費の助成が受けられます。

※住民税課税で65歳以上の一定の障がいがある方（障がい後期医療制度加入者は、自己負担が1割となりますが、後期高齢者医療保険も同じ1割となります）で、受給者証は交付されません。

問い合わせ先

保健福祉課 健康医療グループ
医療給付担当⑨番窓口
☎76-2151（内線229）